

## ■ 2024 年度車両分解調査活動 「BYD ATTO 3 試乗会」 (会員限定)

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様が次世代自動車に搭載されている部品の試作製作ができるように、車両分解調査活動などを通して次世代自動車技術に関する情報提供を実施しています。

今年度は、会員企業の皆様に、次世代自動車部品の加工法や軽量化、振動、騒音、熱管理等のニーズ変化を捉え、次世代自動車に対応するための調査・研究の一環としてお役立ていただくため、中国製の最新EVの「BYD ATTO 3」と欧州製の最新二輪EVの「BMW CE 04」の分解調査を実施します。

今回は、中国メーカーの代表車両であります「BYD ATTO 3」の分解調査の一環として、6月の展示説明会に引き続いて、会員企業の皆様に、今後、分解調査を実施する車両を理解していただくため、「BYD ATTO 3」を実際に運転していただくとともに、比較のため同一セグメントのVW ID. 4を運転していただくほか、BYD様のご協力によりBYD SEAL及びBYD DOLPHINを展示しました「試乗会」を2日間にわたり開催しました。

■日 時： 令和6年8月26日(月)・27日(火) 9時40分～17時40分

■場 所： 交通教育センター レインボー浜名湖

■参加者： 49社/113名

<BYD ATTO 3 試乗>



<VW ID. 4 試乗>

<BYD SEAL・DOLPHIN 展示>



## 【参加者の声】

- ・初めてEV車に乗ることができて、特徴などを体験して大変参考になった。
- ・ID.4と比較することができたため、違いや特徴が良く分かった。
- ・実際の車の乗り心地、性能を体験することができた。また、ID.4と比較することで、EVの現在のレベルと比較をできる良い機会となった。
- ・中国の車に乗ったことがなく、とても良くできていて、良い車と感じた。
- ・BEVの乗り味(コントロール性含む)、内装など実際に感じるすることができた。
- ・車全体の完成度も含めて、非常に参考になった。日本の車とはかなり考え方が違うと思った。
- ・走行性能、走行音など体感できた。BEVならではの加速感があり楽しい。車重があり安定している。
- ・BYDが売れてる理由が実感できた。高質感と品質感が良く、バランスがとれている。
- ・内装の良さ、加速やバランスに驚いた。
- ・シートの乗り心地が体験できた。
- ・モード変更による走行や乗車感の比較ができた。
- ・エンジン車とバッテリー車での車内音を確認できた。
- ・BYD社の車に乗る、見る機会があまりないため、日本車と違う内装などを見ることができて良かった。運転の感覚が味わえたことも大きい。
- ・加速感、騒音等試乗することでしかわからないことが体感できた。
- ・BYDの性能が確認できた。コストパフォーマンスは高いと感じた。
- ・メーカーの方がいることで、技術的な話や販売方針なども伺うことができ、良かった。
- ・実際に試乗することによって、加速の速さ、車内の静かさを実感できた。
- ・乗り心地やインテリア等、カタログではわからない内容が確認できて良かった。
- ・中国のメーカーの車のレベルを知って、思っていた以上に完成度が高く、コストパフォーマンスに優れていた。
- ・車両の安さの割に室内は静かで、ID.4よりも良い印象だった。コスパが良いし、ディスプレイも見やすく、運転しやすかった。
- ・VWの方がアクセル操作がしやすかった。BYDの内装は近未来感があって、ワクワクした。
- ・BYDの方がハンドル操作が軽く、なめらかで運転しやすいと感じた。
- ・どちらも2t近い車重を感じさせないパワフルさを感じた。タイヤサイズは異なるが、VWの方が振動やノイズを少し感じた。
- ・ID.4の方が運転性能が高く感じた。ただ、ID.4の回生ブレーキがキツく感じた。
- ・同じ電気自動車でも、加速やブレーキ、乗り心地の違いがあることが良く分かった。
- ・加速時の気持ちよさ、内装のできを合わせても、インフラが整えば選択の中に入る車でした。
- ・ATTO3は、キビキビとした加速性能とユニークな車内空間が面白い。ID.4は、安定性の高さや高級感。また、走りとの両立が良いと感じた。
- ・同じような車クラスで、こんなにも違いを感じるとは思っていなかったもので、とても貴重な体験だった。
- ・中国のEVと欧州のその違いがイメージとしても掴むことができた。
- ・アクセル/ブレーキフィーリングに差が見られた。インテリアはATTO3の方がデザイン性を重視しているように感じた。